

分野	講演タイトル	講演内容	講師
天守	松江城天守創建に関わる祈禱札の再発見とその意味 －指定理由の一つ祈禱札とは－	松江城天守国宝指定の根拠の一つとなった「祈禱札」の発見の時と、そこに記された内容、堀尾氏の宗教的背景等について紹介する。	稲田 信 (元松江市史料編纂課長)
	初期松江城天守と千鳥破風 －現在とは異なる天守の姿～絵図・柱の痕跡・文献史料から－	創建時の天守は、「比翼の千鳥破風」や「唐破風」を構えた壮麗なものと考えられるようになった。絵図、文献史料、天守に残された痕跡を通して紹介する。	稲田 信
	松江城天守の古写真を読み解く －松江城天守を守った市民の心意気－	明治30年頃までの松江城天守を写した写真は、今日、わずかしか残っていない。写真を通して、松江城のたどった歴史の一端を紹介する。	稲田 信
	松江城天守が国宝に指定されるまでの歩み	松江城天守がどのようにして国宝に指定されたのかを紹介する。	稲田 信、 松江城係職員
	松江城天守の修理 －江戸、明治、昭和そして令和へ－	松江城天守がこれまで幾度かの修理を経て現存することを紹介する。	木下 誠（松江城係長）
	日本が誇る国宝天守の価値 －松江城天守を世界遺産へ－	世界文化遺産登録を目指している松江城を含めた国宝五城の天守の価値を語る。	木下 誠
	松江城天守を守り伝える －保存と活用－	松江城を守り伝えるために行っている取組みを紹介する。	松江城係職員
城	松江城を掘る －発掘調査半世紀の成果－	史跡の整備などに伴いこれまで発掘調査してきた考古学的成果を、多数の記録写真で紹介し、松江城の実像に迫る。	岡崎雄二郎 (元松江市文化財課参事)
	松江市内の城館跡出土品について －考古資料から探る松江城築城前・後－	広瀬の富田城を含めた尼子氏と毛利氏との攻防戦の舞台となった松江市内の山城で発見された陶磁器などの遺物から戦いの状況を見る。	西尾克己 (元松江市史松江城部会長)
	近世初頭の本城・支城体制 －最新の城郭研究から－	関ヶ原の戦い後、新しい領主となった堀尾氏が敷いた防御体制はいかなるものかを、本城（富田城→松江城）と支城から探る。	西尾克己
	近世初頭の本城・支城体制 －江戸幕府の出雲国絵図に記された「古城」から－	近世初頭の出雲国では、松江城を本城とし、4つの城を支城とする「本城・支城体制」が存在した。江戸幕府の「出雲国絵図」から、近世初頭の出雲国での「本城・支城体制」を読み解く。	稲田 信
	「正保城絵図」と松江城	正保元年(1644)、最高の軍事機密である「城絵図」（正保城絵図）の提出が幕府より諸大名に命じられた。幸運にも現存する「出雲国松江城絵図（正保城絵図）」を通して、初期松江城とその時代を読み解く。	稲田 信
	近世出雲国の居城名称 －松江城はいつから「松江城」と呼ばれるようになったのか－	松江城は、はたして創建当時から「松江城」と呼ばれていたのだろうか。その疑問を江戸幕府の国絵図、日本地図を通して考える。	稲田 信
	「旧藩事蹟」の松江城	元松江藩士・重村俊介が著述した「旧藩事蹟」から、江戸末期・明治期の松江城を紹介する。	高橋真千子 (史料調査係歴史史料専門調査員)
城下	松江城下と富田城下の寺院 －城と寺院の移転－	居城の移動に伴い多くの寺社も富田から松江へ移転した。元の富田での寺院の配置や、境内の様子を探ってみたい。	西尾克己
	松江城築城頃の地理・歴史的環境を探る －松江の城と城下町はどのような場所に造られたのか－	堀尾氏は谷合いの富田から宍道湖畔の末次に居城を移した。その背景を地形や歴史、軍備をもとに考える。	西尾克己
	論争 斐伊川はいつ東流したか －斐伊川流域としての松江城下－	斐伊川は、西から東へと流れを変え宍道湖に流入したことが知られている。しかし、その時期については論争がある。松江城下にも大きな影響を与えた斐伊川東流について考える。	稲田 信
	松江城下の食と人	松江城下の町人の日記帳やお殿様の献立帳、武家屋敷の発掘調査成果から、城下の人々の食事について紹介する。	小山祥子（史料調査係長）
城主・藩主	藩主山荘・楽山の諸施設と機能 －松江藩の大名庭園を探る－	御池（弁天池）と馬場を中心として御茶屋や寺社を配した山荘、不昧など藩主が利用した楽山御茶屋跡などが今に残る。	西尾克己
	堀尾吉晴と一族の廟所をめぐる －松江市内・広瀬・高野山・京都春光院－	山陰の中核都市として発展する松江市の基礎を築いたのが堀尾氏である。松江市内、広瀬、京都春光院、江戸養源寺、高野山と、堀尾吉晴とその一族の廟所を紹介する。	西尾克己、稲田 信
	忘れられた松江東照宮（圓流寺）と松江神社の創建 －藩主崇敬社の流転－	松江東照宮は歴代松江藩主の崇敬の地であった。明治時代になり建物の一部が松江神社に移され今日に伝わる。松江東照宮の歴史と松江神社の創建について紹介する。	稲田 信
	木次の名工・御用石工団野八兵衛と月照寺の松江藩主石塔 －松江藩と石造技術の導入－	月照寺は松江松平家の菩提所で、五代藩主以降の墓石塔は木次に住んだ団野八兵衛作と伝わる。名工団野八兵衛の来歴とその作品など団野八兵衛について紹介する。	稲田 信
	三谷家文書について	元松江藩家老三谷家に残された古文書について紹介する。	高橋真千子